

中川なかがわは上御霊かみごりやうのまへの流をいふ、鴨川かもを東川といひ、桂川かつらを西川といふ、其中なかにありしゆへ名とす、一名京極川きやうごくとも号。今の京極通寺院とほりじゆんの筋に川あり。藻塩草もしほにいふ、中川は京極川なり、是御堂殿みだうと法成寺の間を流るゝとぞ。又源氏卷げんじのまきには潜んで中川の宿にゆき空蟬うつせみと碁をかこむの事あり。

続 古 此頃はながるゝ水をせき入て木蔭すゝしき中川の宿

光 俊

新続古 御祓するわが中川の大ぬさは終によせるやあふせ成らん

寂 真 法師